

令和6年度 江戸川区立小岩学校 人権教育 年間指導計画（第1学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	自分の良さや大切さに気付くことを中心にした指導 教師が、児童のよい行いや、頑張っているところを紹介し、自分のよさに目を向けさせる。				友達や他の人の良さや大切さも見付けることを中心にした指導 児童相互で、友だちの良い行いや頑張りを紹介し合ったり、カードに書き合ったりする。							
各教科・読書科	入学期の指導		国語科・生活科・音楽科・図画工作科・体育科・学級活動 「どきどき わくわく 1ねんせい」 授業を通して、学習した内容を習得するとともに、学校に親しみを感じ、友だちとのかかわりを深める。		生活科「はなを さかせよう」「いきものとなかよし」 虫や身近な生きものを見つけたりあさがおを育てたりすることを通し、命の大切さについて考える。			生活科・学級活動 「じぶんでできるよ」 家の仕事を行うことを通し、家族や集団の一員としての自覚をもつ。		生活科・図工「もうすぐ2ねんせい」 ・1年間を振り返り自分の成長に気付くと共に、新年度の1年生に学校について知らせる。		
特別の教科 道徳	礼儀 「あいさつのことば」						道徳地区公開講座					
総合的な学習の時間							善悪の判断、自律、自由と責任 「ダメ！」		生命の尊さ 「ハムスターのあかちゃん」		親切・思いやり 「はしのうえのおおかみ」	
特別活動	1年生を迎える会 集団の一員として加わる。		仲良し班活動・お別れ給食 異学年交流を通して、協力して活動しようとする自主的、実践的な態度を身に付ける。								6年生を送る会 在校生に感謝の気持ちを表す。	
その他	セーフティー教室		保護者会・個人面談・学校公開など 家庭からの連絡等から児童の実態を把握し、児童理解を深める。 読書指導 自ら学ぶ力や豊かな情操を育む。									

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ⇔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和6年度 江戸川区立小岩学校 人権教育 年間指導計画（第2学年）

年間指導計画作成のための留意点 **（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）**

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	自分や学級の目標を考え、掲示する 児童相互の関係を把握する		児童の良い行いを紹介する		互いの大切さを認める指導 児童相互で良いところやよい行いを紹介する							
各教科・読書科	生活科「ぐんぐん そだてわたしの野さい」		生活科「生きものなかよし大作せん」生き物に親しみを持ち生命を大切にする		生活科「どきどきわくわくまちたんけん」地域の自然・人々・公共施設とのかかわり、愛情を持つ				生活科「あしたへジャンプ」自分の成長やよさに気づき、支えてくれた人々に感謝する			
道徳	自然愛護「春がいっぱい」	礼儀「知らない人にも」	生活科「ありがとうはっぴょう会をひらこう」		友情・親切「みほちゃんとなりのせきのみすだくん」	理解教育「通級指導学級を知ろう」	道徳地区公開講座	生活科「ありがとうはっぴょう会をひらこう」		生命の尊さ「やっと会えたね」	郷土愛「日本のたから富士山」	
総合的な学習の時間												
特別活動	1年生を迎える会 協力して1年生を迎える。		仲良し班活動・お別れ給食 異学年の交流を通して、協力して活動しようとする自主的、実践的な態度を身に付ける。						6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。			
その他	セーフティー教室		保護者会・個人面談・学校公開など 家庭からの連絡等から児童の実態を把握し、児童理解を深める。 読書指導 自ら学ぶ力や豊かな情操を育む。									

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 ≡ =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和6年度 江戸川区立小岩学校 人権教育 年間指導計画（第3学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	お互いをよく知る 「自己紹介カードを教室に掲示」			互いの良いところを紹介しあう					互いの違いを認め合う			
各教科・ 読書科	社会科「町探検をしよう」		理科「植物を育てよう」 「チョウを育てよう」		社会科 「店ではたらく人」							
	国語科「もっと知りたい、 友だちのこと」		外国語活動 言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーション能力の素地を養う。									
特別の教科 道徳	節度 「あなたにならで きる」	信頼 「貝が ら」	生命の尊重 「ヒキガエル とロバ」	理解教育 「ひまわり学級に 行ってみよう」		友情・信頼 「仲間だから」	道徳地区 公開講座 礼儀 「何が いけないのか な」	相互理解 「なんと言っ てつたえる？」	生命の尊重 「光裕くんの アサガオ」	自然愛護 「タンタンタ ンゴはパパふ たり」		
総合的な 学習の時 間	「わが町小岩」							「わたしたちのくらしと仕事」				
特別活動	1年生を迎える会 協力して1年 生を迎える。		仲よし班活動・お別れ給食 異学年交流を通して、協力して活動しようとする自主的、実践的な態度を身に付ける。									
その他	セーフティ教室					学習発表会 協力して取り組 む態度を育てる		体育学習発表会 敬老案内 「高齢者」協力して取 り組む態度を育てる		6年生を送る会 在校生に感謝の気持 ちを表す。		
	保護者会・個人面談・学校公開など 家庭からの連絡等から児童の実態を把握し、児童理解を深める。 読書指導 自ら学ぶ力や豊かな情操を育む。											

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ⇔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和6年度 江戸川区立小岩学校 人権教育 年間指導計画（第4学年）

年間指導計画作成のための留意点 **（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）**

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	互いの良さを認め、助け合い高め合える指導 あたたかなかわりが持てる指導				各児童が学級内に自分の存在感を感じ取れる指導				互いの良さの違いを認める指導			
各教科・ 読書科	「住みよいくらしをつくる」				「学級新聞を作ろう」		国語「みんなが楽しめるスポーツ」	保健体育「育ちゆく体と私」	国語「暮らしを便利にするために」		国語「自分の成長を振り返って」	
特別の教科 道徳	外国語活動 言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーション能力の素地を養う。											
	親切・思いやり「つながるやさしさ」	勤労、公共の精神「かっこいい背中」	礼儀「どう言え ばいいのかな」	親切・思いやり「心と心のあく手」		友情・信頼「絵はがきと切手」	道徳地区 公開講座	国際理解+国際 親善「世界の子 どもたちのため」	相互理解+寛容 「わかってくれて ありがとう」	自然愛護「タイ ガとココア」		
総合的な 学習の時間	1年生を迎える会 協力して1年生を迎える。								10歳を祝う会		委員会調べ	
特別活動	仲良し班活動・お別れ給食 異学年交流を通して、協力して活動しようとする自主的、実践的な態度を身に付ける。											
	学習発表会 協力して取り組む態度を育てる。						体育学習発表会 協力して取り組む態度を育てる。				6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。	
その他	セーフティ教室											
	保護者会・個人面談・学校公開など 家庭からの連絡等から児童の実態を把握し、児童理解を深める。 読書指導 自ら学ぶ力や豊かな情操を育む。											

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和6年度 江戸川区立小岩学校 人権教育 年間指導計画（第5学年）

年間指導計画作成のための留意点 **（東京都教育委員会発行『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）を必ず参照し作成すること）**

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	児童相互の関係を把握する。	自分の大切さを認めることを中心とした指導			他人の大切さを認めることを中心とした指導				互いの大切さを認める指導			
各教科・読書科			社会科 「これからの食料生産と私たち」	理科 「ヒトのたんじょう」								
	外国語 言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーション能力の素地を養う。											
特別の教科 道徳	礼儀 「場面に合わせたあいさつ」		公正・公平・社会正義 「位置について！」	生命の尊さ 「希」		節度・節制 「ネット上の友達」	友情・信頼 「ロレンゾの友達」	自然愛護 「トキのまう空」		親切・思いやり 「世代をこえた思いやり」	生命の尊さ 「稲むらの火」	国際理解 「青い目の人形」
総合的な学習の時間	1年生を迎える会 協力して1年生を迎える。				感じよう心の目で 「高齢者・障害者理解」「さくら学級理解教育」				6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。		学級活動「1年間を振り返り、自分の成長を認める」	
特別活動	仲よし班活動・お別れ給食・竹馬活動 異学年交流を通して、協力して活動しようとする自主的、実践的な態度を身に付ける。											
						学習発表会 協力して取り組む態度を育てる。		体育学習発表会 協力して取り組む態度を育てる。	卒業式に向けて 年長者に対する敬意をもち、協力して卒業式に向かう			
その他	セーフティ教室								ウィンタースクール 友達と協力して助け合おうとする態度を育て			
	保護者会・個人面談・学校公開など 家庭からの連絡等から児童の実態を把握し、児童理解を深める。 読書指導 自ら学ぶ力や豊かな情操を育む。											

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和6年度 江戸川区立小岩学校 人権教育 年間指導計画（第6学年）

年間指導計画作成のための留意点 **（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）**

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	児童相互の関係を把握する。		学年・学級経営「思いやりの心をもつ」 自分の良さに気付く・友達の良さを見つける・互いの大切さを認めるなどの指導を、年間を通して取り組む。										
各教科・読書科	社会科 「日本国憲法」						社会科「四民平等」「自由民権運動」 「全国水平社の創設」			社会科「日本とつながりの深い国々」			
	外国語 言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーション能力の素地を養う。												
特別の教科 道徳	信頼・友情 「友達だからこそ」				真理の探究 「山中伸弥先生の快挙」		道徳地区 公開講座		礼儀 「礼ぎ作法と茶道」		国際理解と親善 究極の理想「平和」を求めて		生命の尊さ 「その思いを受けついで」
総合的な学習の時間	1年生を迎える会 協力して1年生を迎える。						世界に目を向けよう 「ラオスの子どもたち」		卒業に向けて 1年生との交流「読み聞かせ」		夢に向かって今できること 6年生を送る会 在校生に感謝の気持ちを表す。		
特別活動	仲よし班活動・お別れ給食・竹馬活動 異学年交流を通して、協力して活動しようとする自主的、実践的な態度を身に付ける。												
	セーフティー教室						学習発表会 協力して取り組む態度を育てる		体育学習発表会 協力して取り組む態度を育てる				
その他	日光 「信頼・協力・友情」 友達を信頼し、協力して助け合おうとする態度を育てる。		保護者会・個人面談・学校公開など 家庭からの連絡等から児童の実態を把握し、児童理解を深める。 読書指導 自ら学ぶ力や豊かな情操を育む。										

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。